

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

私は、管理栄養士を目指せる大学を探していた時に、同志社女子大学を見つけました。

管理栄養士国家試験の合格率、就職決定率が高く、施設、学生生活サポートが充実していると感じたので志望しました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

私は塾には行かず、国立大学の受験対策と定期テストの勉強をしていました。5月頃から朝5時30分に起きて30分勉強をして、7時30分に学校に行き1時間程度自習室での勉強を始めました。慣れるまでは大変でしたが、勉強時間の確保と早め朝型にすることができました。特に英語は英単語と英文法をひたすら解きました。休み時間を利用して、1日教間を毎日続けて勉強していました。

[夏休み]

夏休みは1日10時間以上を目標に毎日勉強しました。これまでの復習を中心とし、苦手教科の英語と化学の勉強、得意教科の数学を集中的にっていました。8月に入ってからセンター試験の過去問を5年分解きました。

私は勉強の計画を立て、毎日何をやるかを決めて勉強していました。そして勉強時間を記録することで、どのくらい勉強したのかが分かるようにしていました。効率良く勉強できることが一番良いけど、難しいのでとやみ加減10時間以上の勉強時間を確保できるようにしました。

[2学期～入試直前]

夏休み後は、生物と英語の勉強を中心にしていました。夏休みの時からもう少し勉強しておいた方が良かったと思います。冬休みはセンター試験の勉強で過去問を10年分、私立大学の勉強で過去問を5年分解きました。問題を解く時は、時間と分かるようにしていました。そして分からない問題はそのままにせず、先生に聞きに行くようにしていました。私は問題を解くことよりも復習を大切にしていました。間違えた問題、その問題に関係することを資料集や教科書で調べました。知らない知識を付箋に書き教科書に貼り、教科書に何でも必要だと思うことを書き込むようにしていました。これを繰り返すことで知識を定着させることができたと思います。入試直前はむしろせずに、11時には寝るようにし、体調を崩さないように気をつけていました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

私は文化部に所属しており、文化祭が終わる9月頃まで部活があったので、毎日コツコツと勉強できるようにしていました。受験勉強と高校の行事の両立は、切り替えを大事にしていました。楽しむ時は思いきり楽しむ、終わったら勉強に集中できるように心がけていました。

勉強を毎日していても思うように成績が上がらない時もありました。そんな時は、「自分はこれだけ頑張っている」「本番で良い結果が出たら大丈夫!」と考えるようにしていました。後は、先生方、母、友達に話を聞いてもらっていました。人に話を聞いてもらえるだけで、不安が少しなくなっていくと思います!健康面では風邪をひかないように、入試直前はきちんと睡眠時間を確保するようにしていました。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験のために頑張ってきた努力は、いつかは報われると思います。私は入試本番までおもしろい点数を取ることができませんでした。それでも諦めずに勉強を続けることで、合格することができました。諦めずに粘り強く勉強することが大切だと思います。1人で受験を乗り越えるのは大変です。周りの人を頼って下さい!!

そして高校生活を悔いのないよう楽しんで、受験勉強も頑張ってください!応援しています◎